

第39回
多摩市政世論調査報告書
概要版（抜粋）



いきいきTAMA

令和4年1月

多 摩 市

目 次

| | |
|-------------------------------|----|
| I 調査の概要..... | 3 |
| II 調査対象者の特性..... | 4 |
| III 調査結果の分析..... | 6 |
| 1. 定住意向..... | 6 |
| (1) 居住年数(問2)..... | 6 |
| (2) 多摩市の認識(問3)..... | 6 |
| (3) 定住意向(問4)..... | 7 |
| 2. 生活環境..... | 7 |
| (1) 住みよさの総合評価(問5)..... | 7 |
| (2) 生活環境の総合評価(問6)..... | 8 |
| 3. 環境問題の関心..... | 8 |
| (1) 関心のある地域レベルの環境問題(問7)..... | 8 |
| 4. 地域活動と生涯学習..... | 9 |
| (1) 地域活動の現況と参加意向(問10)..... | 9 |
| 5. 日常生活での実感..... | 10 |
| (1) 現在の幸福度(問15)..... | 10 |
| (2) 日常生活の悩み・不安(問16)..... | 10 |
| 6. 暮らし向き..... | 11 |
| (1) 暮らし向きの変化(問17)..... | 11 |
| (2) 暮らし向きの悪化理由(問17-1)..... | 11 |
| 7. たま広報・公式ホームページ..... | 11 |
| (1) 「たま広報」の精読度(問19)..... | 11 |
| 8. 市政への要望..... | 12 |
| (1) 行政に特に力を入れてほしいこと(問35)..... | 12 |
| 9. 生活の中での実感..... | 13 |
| (1) 日常生活での実感(問37)..... | 13 |
| 10. 男女平等..... | 14 |
| (1) 男女の地位の平等感(問47)..... | 14 |
| 11. いざという時の近所との関わり..... | 14 |
| (1) いざという時の近隣協力関係(問49)..... | 14 |
| (2) 地域での助け合える関係(問50)..... | 14 |
| 参考資料 第39回多摩市政世論調査報告書 章立..... | 15 |

【調査結果の分析を見る際の注意事項】

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 小数点以下の数値においては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、小数点第1位の数値同士を合計した場合、単純合計の数値と異なる場合がある。
- 2つ以上回答をしてもよい質問(複数回答)の場合、百分率の合計は通常100%を超える。
- 属性別の分析にあたり、各属性サンプル数が少数(30未満)の場合は、参考程度に見ていただきたい。

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の定住意向や居住地域に対する考え方、市政に対する要望などを把握し、行政の参考資料とするものである。

2. 調査の設計

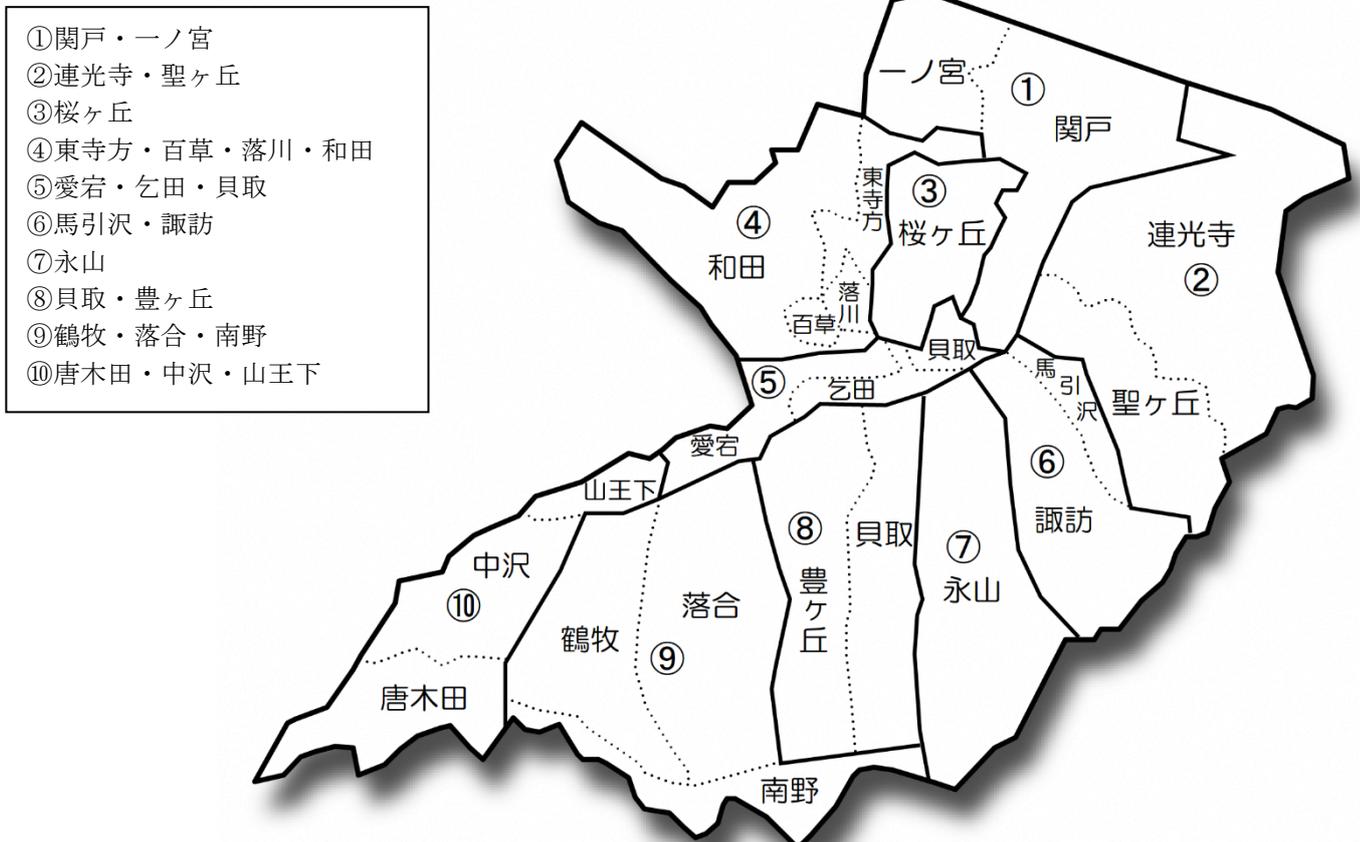
- (1) 調査地域：多摩市全域
- (2) 調査対象者：多摩市に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳により層化無作為抽出法
- (5) 調査方法：調査票郵送配布・回収
- (6) 調査時期：令和 3 年 8 月 25 日～9 月 7 日

3. 回収結果

| | |
|----------|--------------------------|
| 標本数 | 3,000 |
| 郵送未達 | 10 |
| 総回収数（率） | 1,569（52.3%） |
| 有効回答数（率） | 1,568（52.3%）※有効回答数は白票を除く |
| 回収不能数（率） | 1,421（47.4%） |

4. 地域別区分図

市内を 10 の地域ブロック（図中の丸数値）、17 の居住地区に分けて集計している。



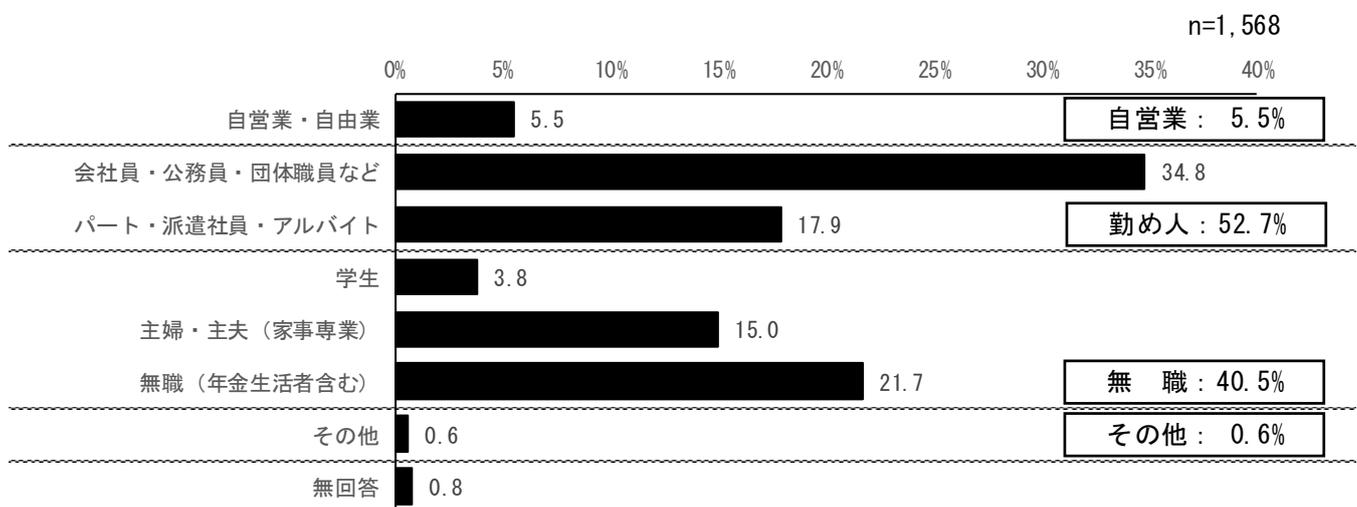
II 調査対象者の特性

【職業】

職業は「会社員・公務員・団体職員など」(34.8%)が最も高く、次いで「無職(年金生活者含む)」(21.7%)、「パート・派遣社員・アルバイト」(17.9%)、「主婦・主夫(家事専業)」(15.0%)、「自営業・自由業」(5.5%)、「学生」(3.8%)の順である。

“自営業”(5.5%)、“勤め人”(52.7%)、“無職”(40.5%)、“その他”(0.6%)の区分では“勤め人”が最も高い。(図2)

図2 職業



【居住形態】

居住形態は「分譲マンション」(44.3%)、「一戸建て(持ち家)」(25.9%)が高く、両者を合わせた“持ち家”は70.2%となる。“借家”では「民間のアパート・マンション(賃貸)」(12.4%)、「UR(旧公団)・公社の賃貸住宅」(10.1%)。「都・市営住宅」(4.5%)の順に高い。

居住地域別では、“持ち家”は「桜ヶ丘」(86.1%)、「連光寺・聖ヶ丘」(79.2%)、「唐木田・中沢・山王下」(79.1%)で特に高い。「持ち家(一戸建て)」は「桜ヶ丘」(69.4%)が高く、「分譲マンション」は「貝取・豊ヶ丘」(62.7%)、「唐木田・中沢・山王下」(59.9%)、「鶴牧・落合・南野」(57.4%)で高くなっている。

いずれの地域も持ち家の方が多くなっているが、“借家”については、「永山」(44.4%)、「馬引沢・諏訪」(32.4%)、「東寺方・百草・落川・和田」(32.2%)、「愛宕・乞田・貝取」(30.9%)、「貝取・豊ヶ丘」(30.0%)の借家率が他地域に比べ高くなっている。(表5)

表5 居住形態（居住地域別）

単位：%

| | 合計 (人) | 持ち家 | | | 借家 | | | | | | その他 | 無回答 | |
|-----------|--------------|---------------|-------------|-------------|--------------|---------------|-----------------------|--|----------------------------|------------------|------------|------------|-----|
| | | (一戸建て 持ち家) | 分譲 マンション | 小計 | 一戸建て (借家) | (賃貸) マンション | 民間の アパート・ マンション | 公 社 の 賃 貸 住 宅 (旧公団) | 都 ・ 市 営 住 宅 | 社 宅 ・ 寮 | | | 小計 |
| 全体 | 1,568 | 25.9 | 44.3 | 70.2 | 0.6 | 12.4 | 10.1 | 4.5 | 0.5 | 28.1 | 0.4 | 1.3 | |
| 居住地域別 | 関戸・一ノ宮 | 132 | 28.0 | 43.2 | 71.2 | 1.5 | 22.7 | 1.5 | 2.3 | 0.8 | 28.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 連光寺・聖ヶ丘 | 168 | 51.2 | 28.0 | 79.2 | 1.8 | 10.1 | 3.6 | 4.8 | 0.0 | 20.3 | 0.0 | 0.6 |
| | 桜ヶ丘 | 72 | 69.4 | 16.7 | 86.1 | 2.8 | 9.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 1.4 |
| | 東寺方・百草・落川・和田 | 143 | 48.3 | 16.1 | 64.4 | 0.0 | 14.7 | 11.9 | 3.5 | 2.1 | 32.2 | 0.0 | 3.5 |
| | 愛宕・乞田・貝取 | 162 | 22.2 | 46.9 | 69.1 | 0.0 | 13.0 | 6.2 | 11.1 | 0.6 | 30.9 | 0.0 | 0.0 |
| | 馬引沢・諏訪 | 152 | 16.4 | 49.3 | 65.7 | 0.7 | 17.8 | 5.3 | 8.6 | 0.0 | 32.4 | 0.7 | 1.3 |
| | 永山 | 151 | 13.9 | 38.4 | 52.3 | 0.0 | 13.2 | 28.5 | 2.0 | 0.7 | 44.4 | 1.3 | 2.0 |
| | 貝取・豊ヶ丘 | 150 | 6.0 | 62.7 | 68.7 | 0.0 | 2.0 | 20.0 | 7.3 | 0.7 | 30.0 | 0.7 | 0.7 |
| | 鶴牧・落合・南野 | 249 | 14.9 | 57.4 | 72.3 | 0.4 | 6.4 | 15.7 | 3.2 | 0.0 | 25.7 | 0.4 | 1.6 |
| | 唐木田・中沢・山王下 | 177 | 19.2 | 59.9 | 79.1 | 0.0 | 16.9 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 18.7 | 0.6 | 1.7 |
| 無回答 | 12 | 16.7 | 33.3 | 50.0 | 0.0 | 16.7 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 41.7 | 0.0 | 8.3 | |

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

【ライフステージ】

ライフステージは「高齢者世帯」(23.9%)が最も高い。次いで「家族成熟期」(14.5%)、「独身期」(10.7%)、「家族成長前期」(10.5%)の順に続く。

居住地域別にみると、「高齢者世帯」は「貝取・豊ヶ丘」(29.3%)が最も高い。また、ほとんどの地域では「高齢者世帯」が最も高いが、「東寺方・百草・落川・和田」、「唐木田・中沢・山王下」は「家族成熟期」も高くなっている。「馬引沢・諏訪」では「家族形成期」と「家族成長期」が比較的高い。

(表8)

表8 ライフステージ（居住地域別）

単位：%

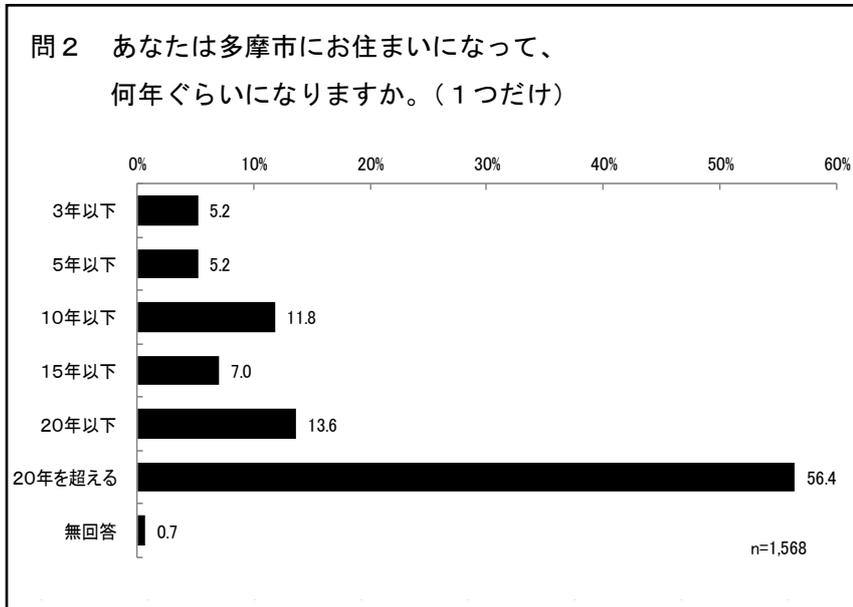
| | 合計 (人) | 独 身 期 | 家 族 形 成 期 | 家 族 成 長 前 期 | 家 族 成 長 後 期 | 家 族 成 熟 期 | 高 齢 期 | 高 齢 者 世 帯 | そ の 他 | 無 回 答 | |
|-------|--------------|-------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|-------------|-----------------------|-------------|-------------|-----------|
| | | | | | | | | | | | 全体 |
| 居住地域別 | 関戸・一ノ宮 | 132 | 9.1 | 4.5 | 11.4 | 6.8 | 16.7 | 9.8 | 22.0 | 18.9 | 0.8 |
| | 連光寺・聖ヶ丘 | 168 | 10.7 | 3.0 | 11.9 | 8.3 | 16.7 | 11.9 | 22.0 | 14.9 | 0.6 |
| | 桜ヶ丘 | 72 | 13.9 | 4.2 | 12.5 | 5.6 | 18.1 | 8.3 | 20.8 | 16.7 | 0.0 |
| | 東寺方・百草・落川・和田 | 143 | 11.2 | 7.0 | 9.1 | 6.3 | 21.0 | 11.9 | 21.0 | 12.6 | 0.0 |
| | 愛宕・乞田・貝取 | 162 | 9.9 | 3.7 | 6.8 | 9.3 | 16.0 | 5.6 | 27.2 | 20.4 | 1.2 |
| | 馬引沢・諏訪 | 152 | 5.9 | 11.2 | 17.8 | 4.6 | 9.9 | 13.8 | 23.0 | 13.8 | 0.0 |
| | 永山 | 151 | 13.2 | 9.9 | 4.6 | 7.9 | 11.3 | 9.3 | 23.2 | 20.5 | 0.0 |
| | 貝取・豊ヶ丘 | 150 | 10.7 | 4.0 | 6.7 | 4.0 | 10.7 | 14.7 | 29.3 | 20.0 | 0.0 |
| | 鶴牧・落合・南野 | 249 | 9.2 | 6.8 | 12.4 | 8.8 | 10.8 | 8.8 | 28.1 | 13.7 | 1.2 |
| | 唐木田・中沢・山王下 | 177 | 14.7 | 5.1 | 12.4 | 5.6 | 19.2 | 9.0 | 20.3 | 13.6 | 0.0 |
| 無回答 | 12 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | |

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

Ⅲ 調査結果の分析

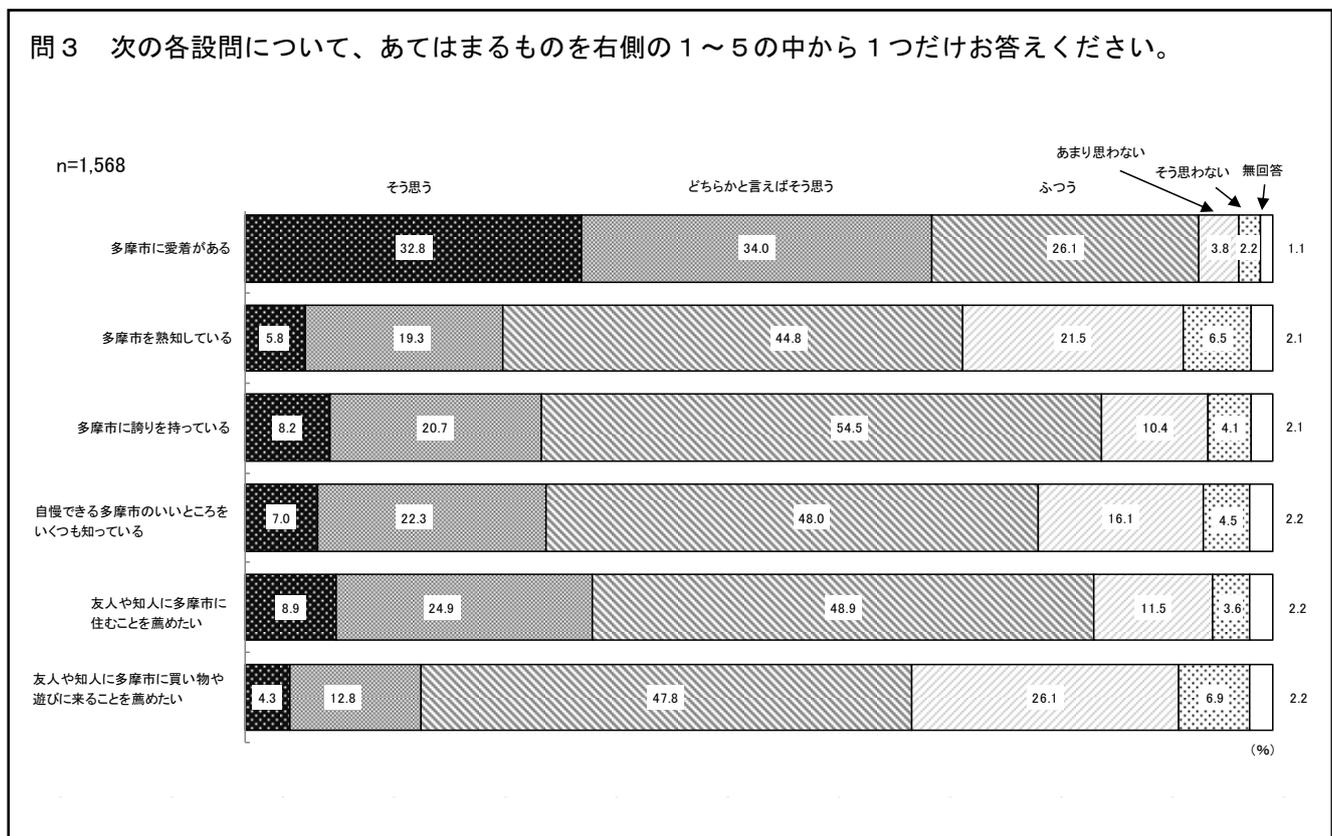
1. 定住意向

(1) 居住年数 (問2)



多摩市における居住年数は、「3年以下」(5.2%)、「5年以下」(5.2%)を合わせた“短期居住者”が10.4%、「10年以下」(11.8%)、「15年以下」(7.0%)、「20年以下」(13.6%)を合わせた“中期居住者”が32.4%、「20年を超える」“長期居住者”が59.5%となっており、“長期居住者”が全体の約6割を占めている。

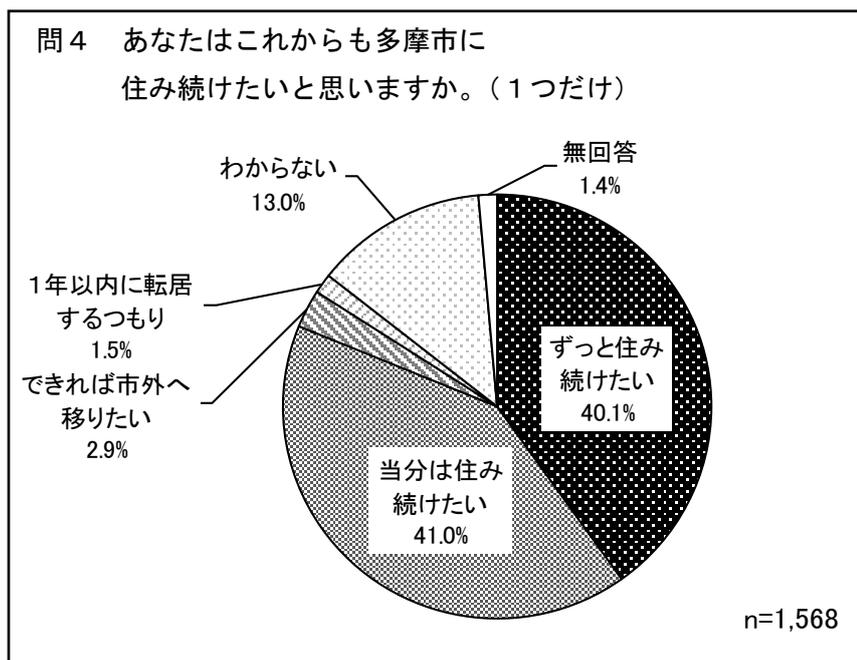
(2) 多摩市の認識 (問3)



多摩市の認識について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた“肯定的評価”は、「多摩市に愛着がある」が 66.8%となり、他と比べて特に高く、次いで、「友人や知人に多摩市に住むことを薦めたい」(33.8%)、「自慢できる多摩市のいいところをいくつも知っている」(29.3%)の順で高くなっている。

「あまり思わない」、「そう思わない」を合わせた“否定的評価”は、「友人や知人に多摩市に買い物や遊びに来ることを薦めたい」(33.0%)、「多摩市を熟知している」(28.0%)、「自慢できる多摩市のいいところをいくつも知っている」(20.6%)の順に高くなっている。

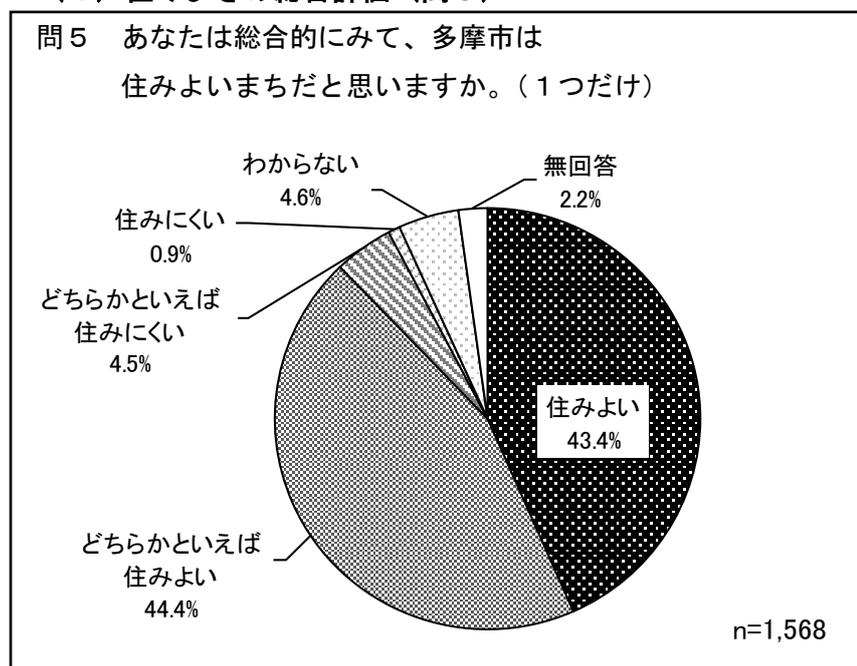
(3) 定住意向 (問4)



多摩市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」(40.1%)、「当分は住み続けたい」(41.0%)を合わせた“定住派”が 81.1%を占めている。反対に「できれば市外へ移りたい」(2.9%)、「1年以上以内に転居するつもり」(1.5%)を合わせた“転居派”は 4.4%にとどまっている。

2. 生活環境

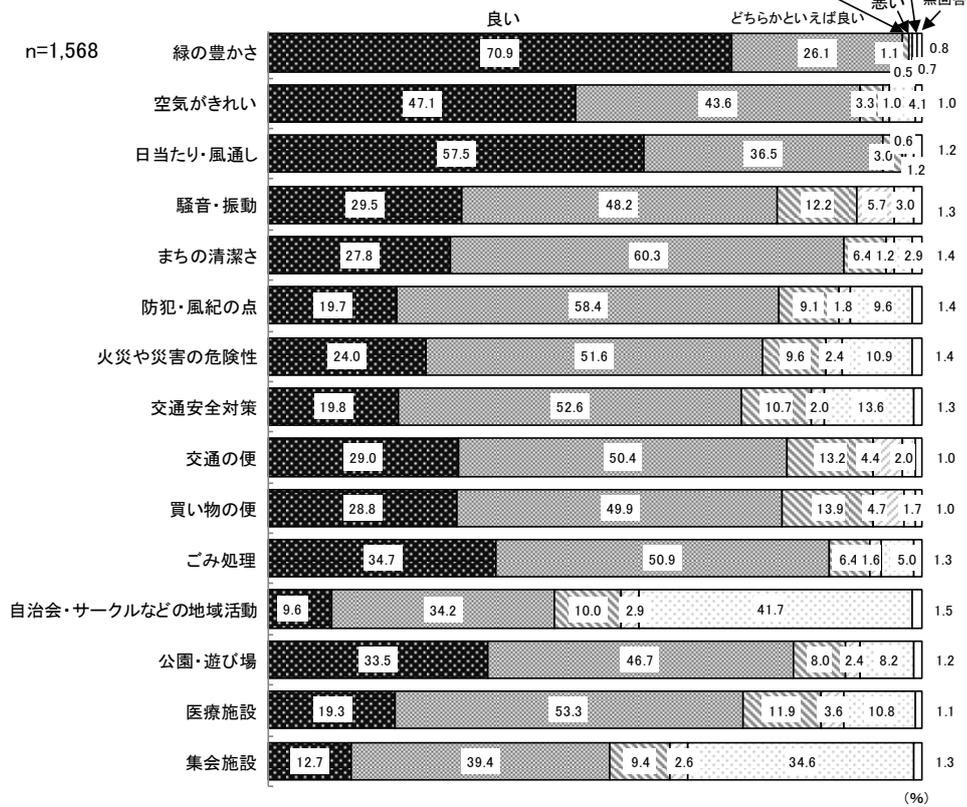
(1) 住みよさの総合評価 (問5)



市の住みよさの総合評価は、「住みよい」(43.4%)、「どちらかといえば住みよい」(44.4%)を合わせた“肯定的評価”が 87.8%と全体の8割以上を占めている。「どちらかといえば住みにくい」(4.5%)、「住みにくい」(0.9%)を合わせた“否定的評価”は 5.4%にとどまっている。

(2) 生活環境の総合評価 (問6)

問6 あなたのお住まいの地域環境について、どのような感想をお持ちですか。次にあげる1)～15)の各項目に、右側の1～5の中から1つだけお答えください。



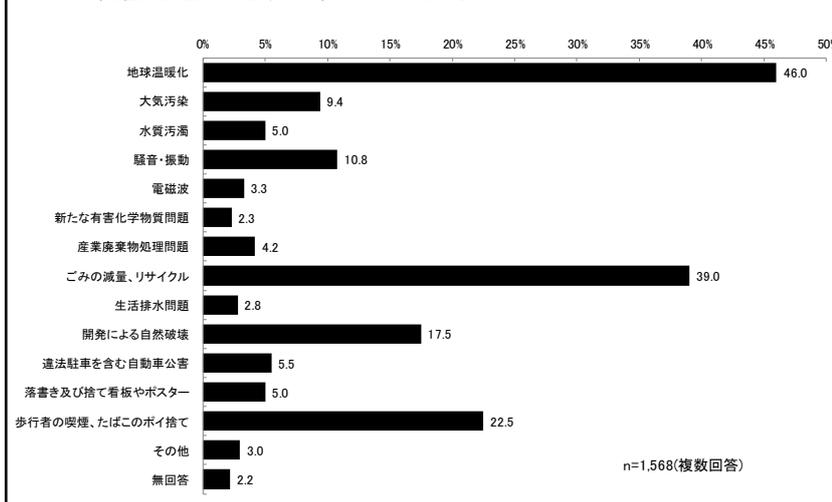
住まいの地域環境は、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた「肯定的評価」では「緑の豊かさ」(97.0%)、「日当たり・風通し」(94.0%)、「空気がきれい」(90.7%)といった自然環境に関する項目が9割前後と上位を占めている。次いで「まちの清潔さ」(88.1%)、「ごみ処理」(85.6%)となっている。

一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた「否定的評価」では「買い物の便」(18.6%)、「騒音・振動」(17.9%)、「交通の便」(17.6%)、「医療施設」(15.5%)の4項目が高く、生活の便利さに対する評価が低くなっている。

3. 環境問題の関心

(1) 関心のある地域レベルの環境問題 (問7)

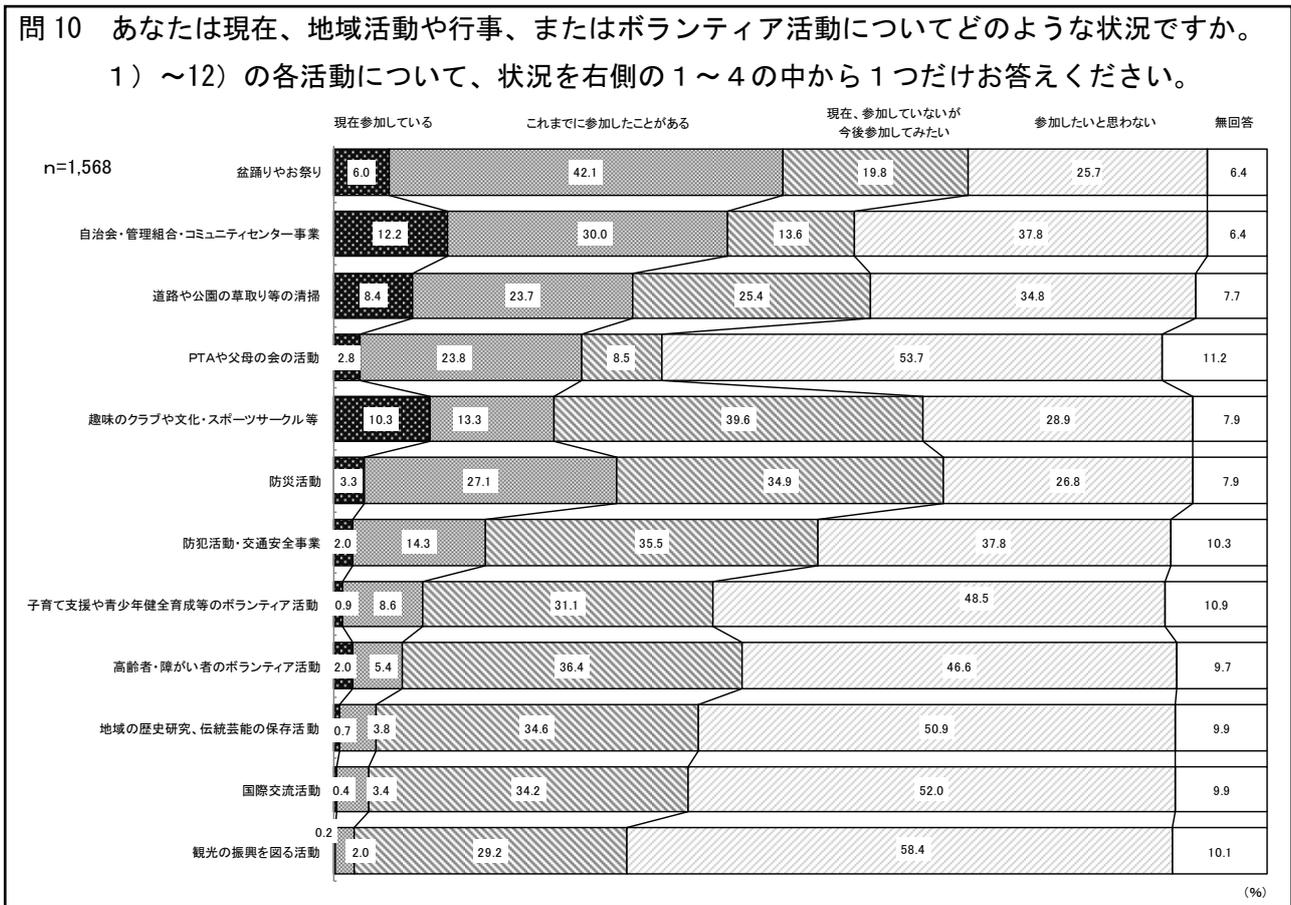
問7 あなたが地域レベルの環境問題について、特に関心がある項目はどれですか。(2つまで)



関心のある地域レベルの環境問題は、「地球温暖化」(46.0%)と「ごみの減量、リサイクル」(39.0%)が最も高く、次いで「歩行者の喫煙、たばこのポイ捨て」(22.5%)、「開発による自然破壊」(17.5%)、「騒音・振動」(10.8%)の順となっている。

4. 地域活動と生涯学習

(1) 地域活動の現況と参加意向 (問10)



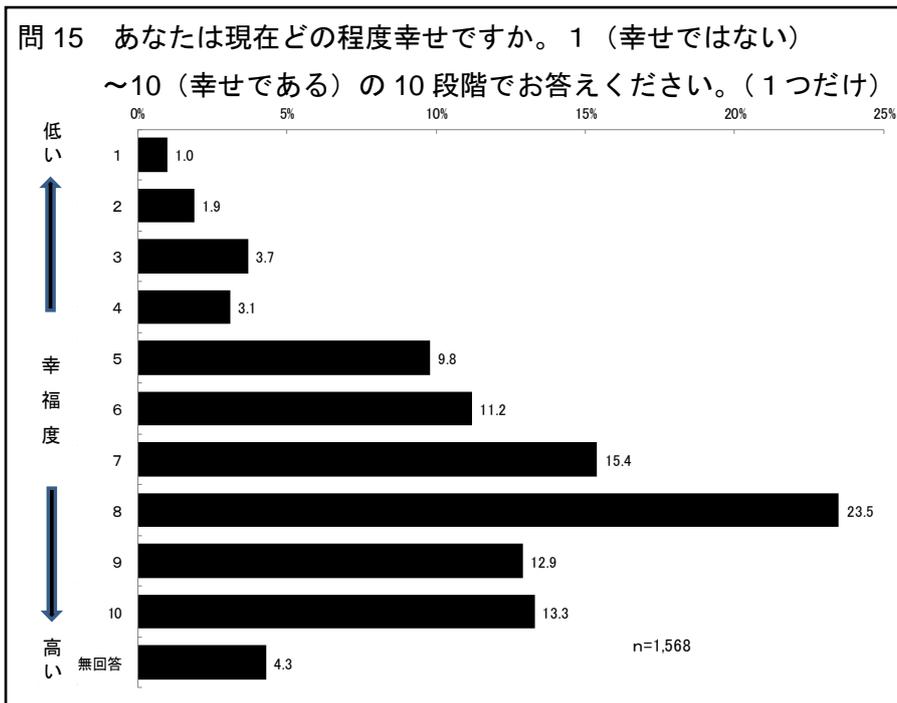
地域活動の現況は、「現在参加している」は「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(12.2%)、「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(10.3%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(8.4%)が高く、次いで「盆踊りやお祭り」(6.0%)、「防災活動」(3.3%)、「PTAや父母の会の活動」(2.8%)の順となっている。

「これまでに参加したことがある」は「盆踊りやお祭り」(42.1%)が最も高く、「自治会・管理組合・コミュニティセンター事業」(30.0%)が続き、次いで「防災活動」(17.1%)、「PTAや父母の会の活動」(23.8%)、「道路や公園の草取り等の清掃」(23.7%)の順となっている。

「現在参加していないが今後参加してみたい」は「趣味のクラブや文化・スポーツサークル等」(39.6%)と「高齢者・障がい者のボランティア活動」(36.4%)が高く、次いで「防犯活動・交通安全事業」(35.5%)、「防災活動」(34.9%)、「地域の歴史研究、伝統芸能の保存活動」(34.6%)の順となっている。

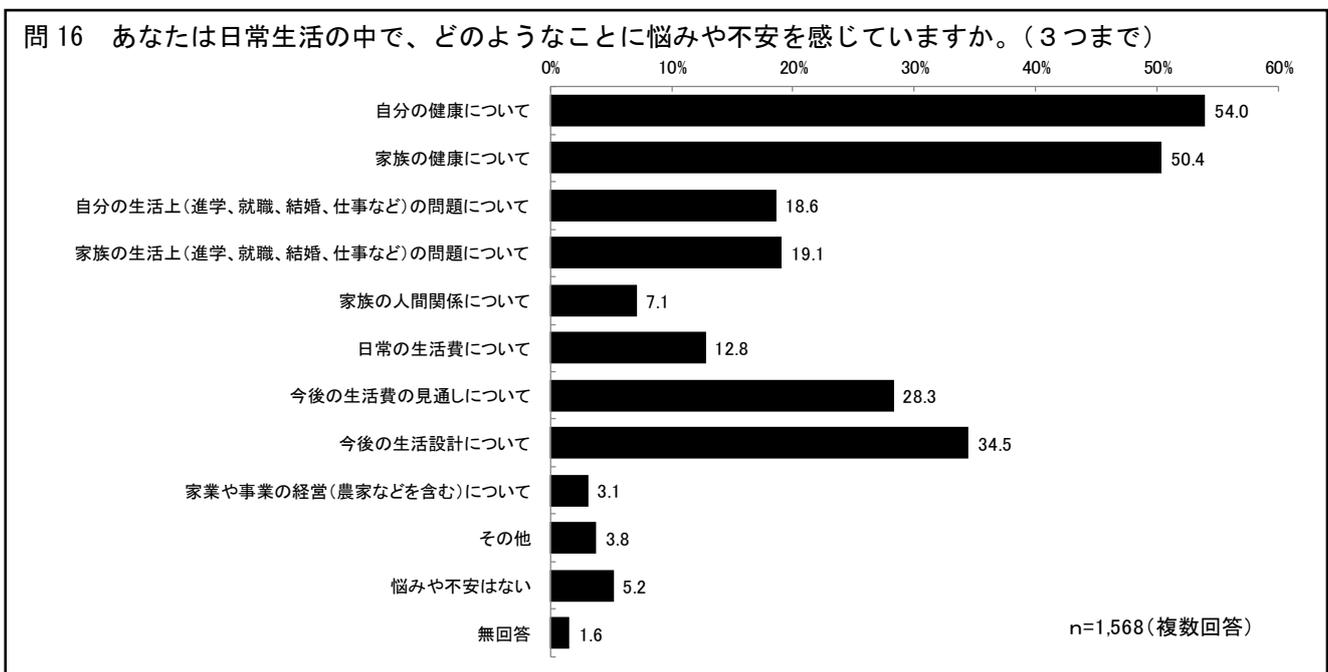
5. 日常生活での実感

(1) 現在の幸福度 (問 15)



現在の幸福度について最も多いのが「8」(23.5%)で、次いで「7」(15.4%)、「10」(13.3%)の順となっている。

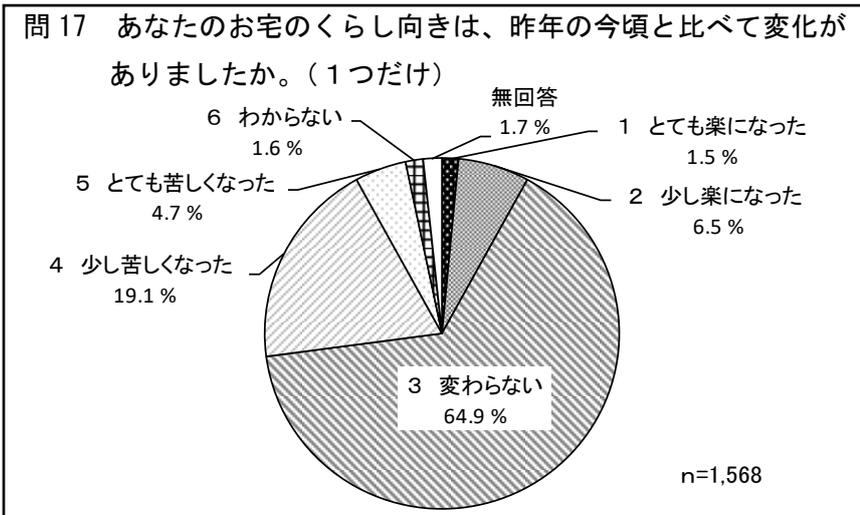
(2) 日常生活の悩み・不安 (問 16)



日常生活の悩み・不安は「自分の健康について」(54.0%)、「家族の健康について」(50.4%)が高くなっている。以下「今後の生活設計について」(34.5%)、「今後の生活費の見通しについて」(28.3%)の順となっている。

6. 暮らし向き

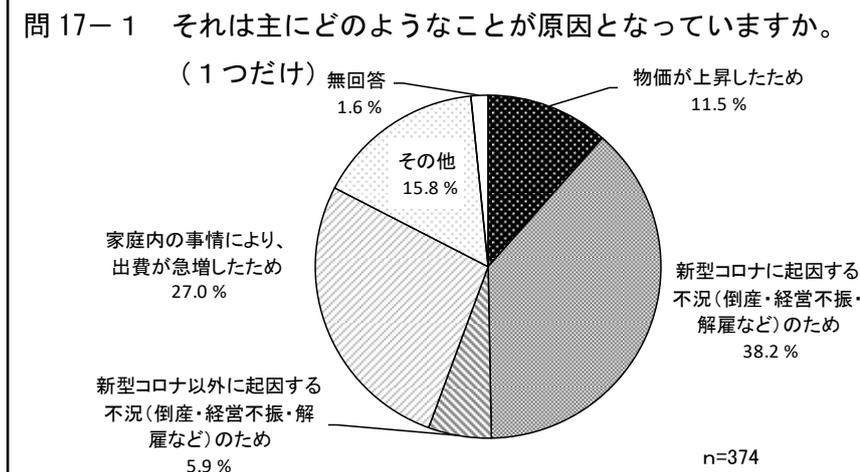
(1) 暮らし向きの変化 (問 17)



暮らし向きの変化は、今年の今頃と比べて「変わらない」(64.9%)が6割以上を占めている。次いで「少し苦しくなった」(19.1%)、「少し楽になった」(6.5%)と続いている。

(2) 暮らし向きの悪化理由 (問 17-1)

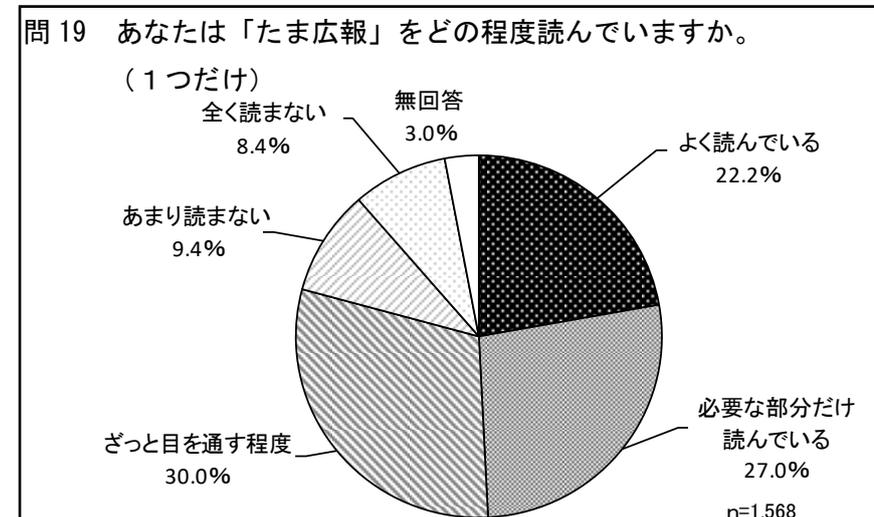
(問 17 で「4」「5」とお答えの方のみ)



暮らし向きの悪化理由は、「新型コロナに起因する不況(倒産・経営不振・解雇など)のため」(38.2%)が最も高く、次いで「家庭内の事情により、出費が急増したため」(27.0%)、「物価が上昇したため」(11.5%)の順となっている。

7. たま広報・公式ホームページ

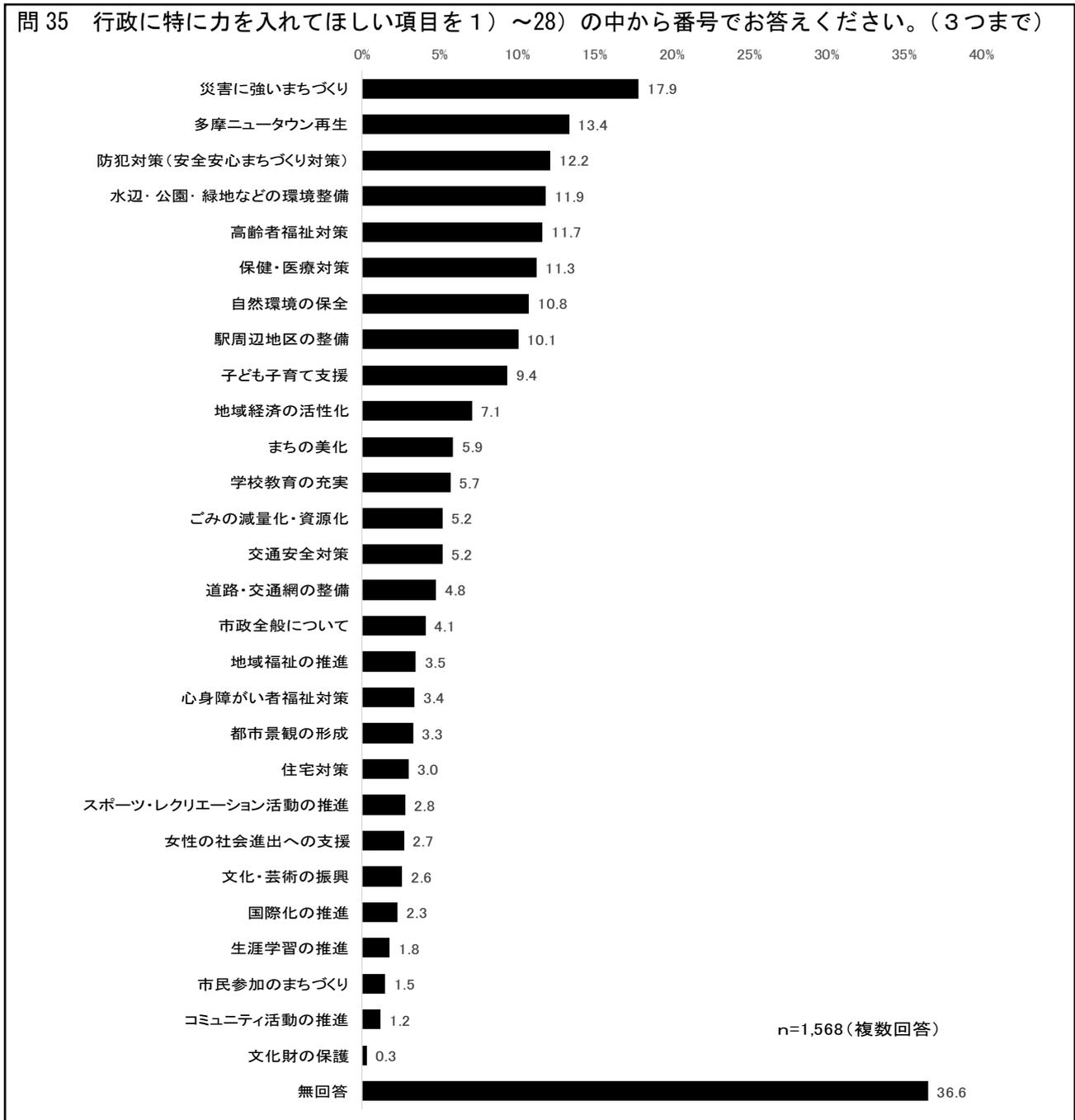
(1) 「たま広報」の精読度 (問 19)



「たま広報」の精読度については、「ざっと目を通す程度」(30.0%)が高く、次いで「必要な部分だけ読んでいる」(27.0%)、「よく読んでいる」(22.2%)、「あまり読まない」(9.4%)の順となっている。「読んでいる」は79.2%で、8割近くを占めている。一方、「全く読まない」(8.4%)も1割弱みられる。

8. 市政への要望

(1) 行政に特に力を入れてほしいこと (問 35)



行政に特に力を入れてほしい施策は、「災害に強いまちづくり」(17.9%)が最も高く、次いで「多摩ニュータウン再生」(13.4%)、「防犯対策(安全安心まちづくり対策)」(12.2%)、「水辺・公園・緑地などの環境整備」(11.9%)の順となっている。

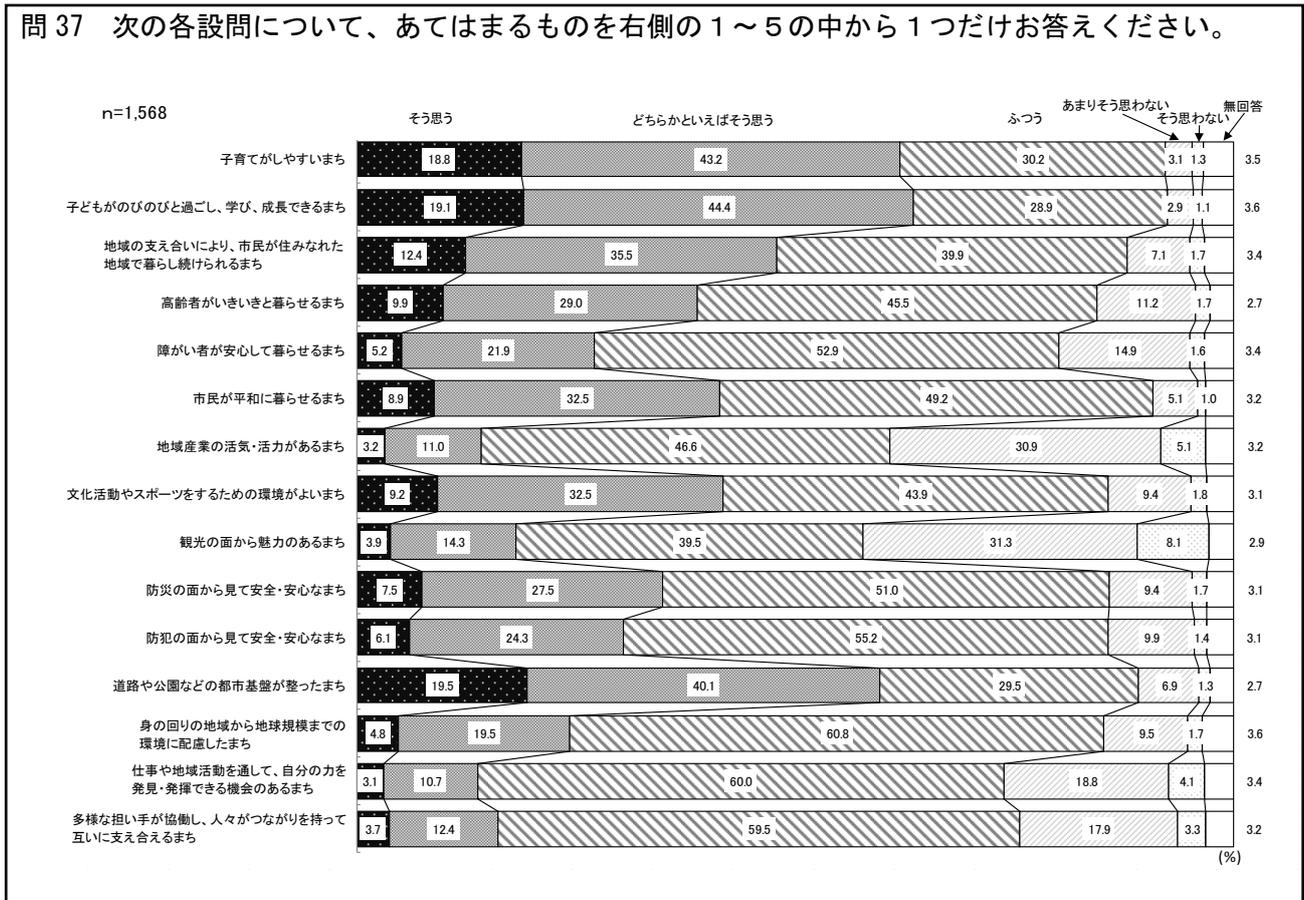
行政に力を入れてほしい施策の変化をみると、「高齢者福祉対策」は平成22年度から平成27年度までは1位か2位を堅持していたが、平成29年から下降に転じ今回の調査では5位になった。「防犯対策(安全安心まちづくり対策)」はいずれの調査においても1位～3位の間である。

平成23年に一度3位まで下降した「災害に強いまちづくり」は、今回の調査で1位に返り咲いた。前回1位になった「多摩ニュータウン再生」は2位となり、「水辺・公園等の環境整備」、「保険・医療対策」が久しぶりに5位以内に入った。

9. 生活の中での実感

(1) 日常生活での実感 (問 37)

問 37 次の各設問について、あてはまるものを右側の1～5の中から1つだけお答えください。

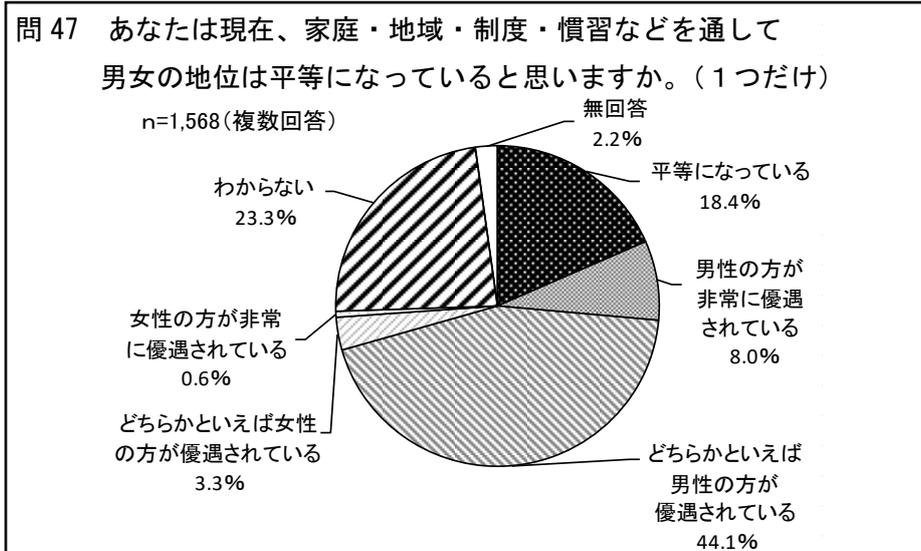


日常生活での実感では、多摩市について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“肯定的評価”は「子どもがのびのびと過ごし、学び、成長できるまち」(63.5%)、「子育てがしやすいまち」(62.0%)、「道路や公園などの都市基盤が整ったまち」(59.6%)、「地域の支え合いにより、市民が住みなれた地域で暮らし続けられるまち」(47.9%)、「文化活動やスポーツをするための環境がよいまち」(41.7%)、「市民が平和に暮らせるまち」(41.4%)の順に高い。

それに対して、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“否定的評価”は、「観光の面から魅力のあるまち」(39.4%)、「地域産業の活気・活力があるまち」(36.0%)、「仕事や地域活動を通して、自分の力を発見・発揮できる機会のあるまち」(22.9%)、「多様な担い手が協働し、人々がつながりを持って互いに支え合えるまち」(21.2%)、「障がい者が安心して暮らせるまち」(16.5%)の順に高くなっている。

10. 男女平等

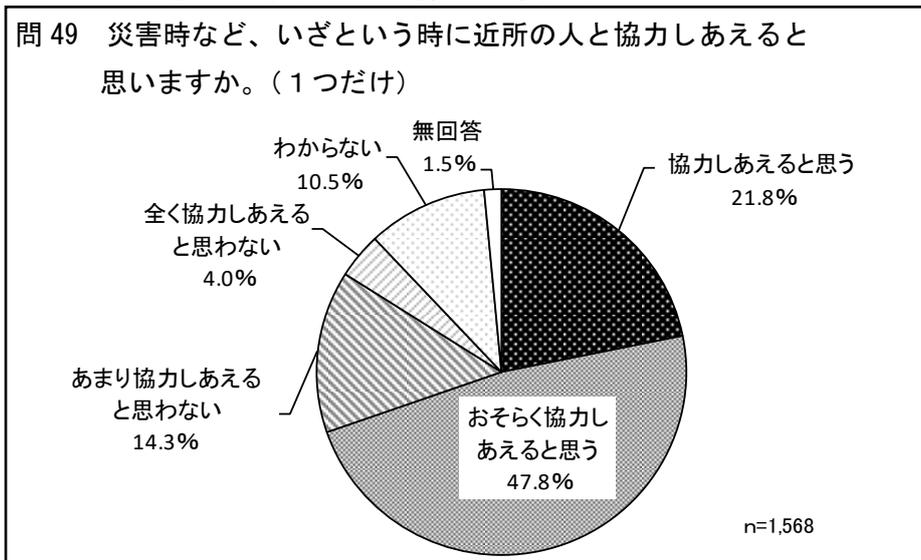
(1) 男女の地位の平等感 (問 47)



男女の地位の平等感については、「平等になっている」(18.4%)、「男性の方が優遇されている」(52.1%)が、「女性の方が優遇されている」(3.9%)を大きく上回っている。

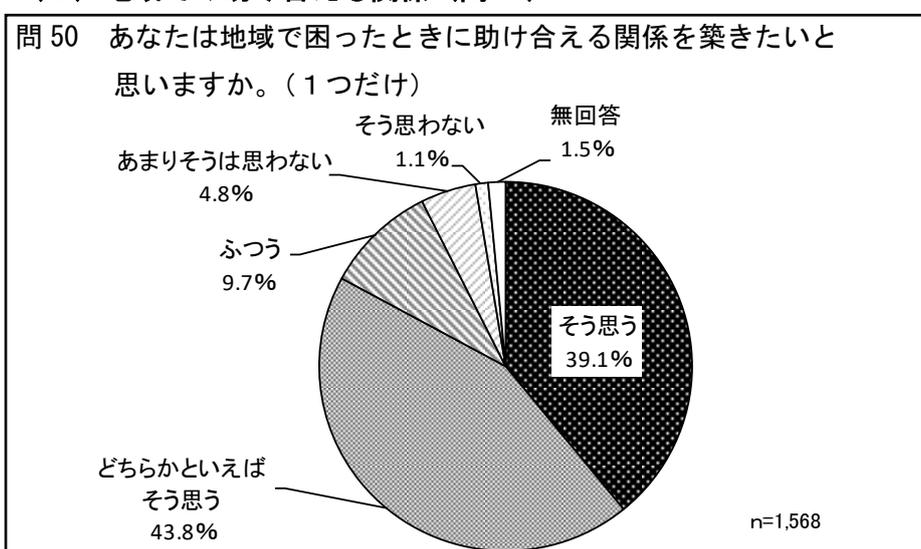
11. いざという時の近所との関わり

(1) いざという時の近隣協力関係 (問 49)



いざという時の近隣協力関係については、「おそらく協力しあえると思う」(47.8%)、「協力しあえると思う」(21.8%)の順に高く、「協力しあえると思う」は約7割になる。

(2) 地域での助け合える関係 (問 50)



地域での助け合える関係については、「そう思う」(39.1%)と「どちらかといえばそう思う」(43.8%)を合わせた“そう思う”は約8割となっている。

参考資料 第39回多摩市政世論調査報告書 章立

*は概要版に一部掲載した項目です。

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> * I 調査の概要 * II 調査対象者の特性 III 質問と回答 * IV 調査結果の分析 * 1. 定住意向 <ul style="list-style-type: none"> (1) 前住地 (問1) (2) 転入のきっかけ (問1-1) (3) 多摩市を選んだ理由 (問1-2) * (4) 居住年数 (問2) * (5) 多摩市の認識 (問3) * (6) 定住意向 (問4) <ul style="list-style-type: none"> (7) 転居のきっかけ (問4-1) (8) 転居理由 (問4-2) * 2. 生活環境 <ul style="list-style-type: none"> (1) 住みよさの総合評価 (問5) (2) 生活環境の総合評価 (問6) * 3. 環境問題の関心 <ul style="list-style-type: none"> (1) 関心のある地域レベルの環境問題 (問7) (2) 地球温暖化対策のために市に求める事業 (問8) (3) 地球温暖化対策のための日々の取り組み (問9) * 4. 地域活動と生涯学習 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域活動の現況と参加意向 (問10) (2) 行政が力を入れるべき地域活動 (問10) (3) 生涯学習の経験 (問11) 5. 文化芸術鑑賞状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化や芸術イベントの参加・鑑賞頻度 (問12) 6. 文化芸術の創作状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化や芸術の創作頻度 (問13) 7. スポーツの実施状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツの実施頻度 (問14) * 8. 日常生活での実感 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の幸福度 (問15) (2) 日常生活の悩み・不安 (問16) * 9. 暮らし向き <ul style="list-style-type: none"> (1) 暮らし向きの変化 (問17) (2) 暮らし向きの悪化理由 (問17-1) 10. 市政への関心 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市政への関心度 (問18) (2) 市政に関心のない理由 (問18-1) * 11. たま広報・公式ホームページ <ul style="list-style-type: none"> (1) 「たま広報」の精読度 (問19) (2) 「たま広報」の関心がある記事 (問19-1) (3) 「たま広報」に求める情報 (問20) (4) 公式ホームページ閲覧の有無 (問21) (5) 市政情報の入手手段 (問22) | <ul style="list-style-type: none"> 12. 市議会 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市議会への関心の有無 (問23) (2) 市議会に関心がない理由 (問23-1) (3) 市議会情報の入手手段 (問24) (4) 議会に期待する役割 (問25) 13. 窓口対応の満足度 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市役所及び出張所の窓口サービスの満足度 (問26) 14. 市政の取り組み <ul style="list-style-type: none"> (1) 認知度 (問27~34-①) (2) 評価度 (問27~34-②) (3) 認知度と評価度からみた行政ニーズ (問27~34-①×②) (4) ライフステージ別広報活動の必要性が高い施策 (問27~34) * 15. 市政への要望 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市政の満足度 (問35) (2) 行政に特に力を入れてほしいこと (問35) 16. 市施設の利用状況 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市施設の認知度と利用状況 (問36) * 17. 生活の中での実感 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日常生活での実感 (問37) 18. 健康・食育 <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の健康状態 (問38) (2) 健康づくりへの関心 (問39) (3) 健康維持のために実践していること (問40) (4) かかりつけの医師の有無 (問41) (5) かかりつけの歯科医の有無 (問42) (6) 習慣的な喫煙の有無 (問43) (7) 受動喫煙の配慮 (問43-1) (8) 朝食の摂取状況 (問44) (9) 野菜のとり方への留意 (問45) 19. 児童虐待 <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童虐待の通告・相談先の認知度 (問46) (2) 知っている通告先 (問46-1) * 20. 男女平等 <ul style="list-style-type: none"> (1) 男女の地位の平等感 (問47) 21. 犯罪被害 <ul style="list-style-type: none"> (1) 犯罪被害者等相談窓口の認知度 (問48) * 22. いざという時の近所との関わり <ul style="list-style-type: none"> (1) いざという時の近隣協力関係 (問49) (2) 地域での助け合える関係 (問50) <p>V 結果の数表</p> |
|--|---|

令和4年1月発行

■発行 東京都多摩市 企画政策部 秘書広報課

所 在：東京都多摩市関戸六丁目12番地1

電 話：042（338）6806（直通）

FAX：042（338）3311

多摩市公式ホームページ：<https://www.city.tama.lg.jp/>